

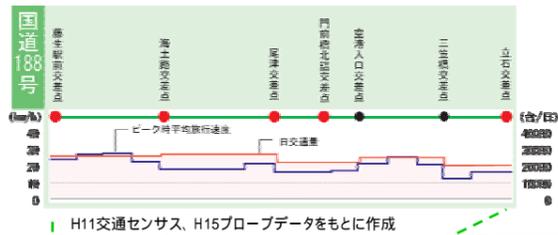
岩国地域における渋滞対策

岩国地域では、海岸沿いの国道2号及び国道188号において慢性的な渋滞が発生しており、主要渋滞ポイントが集中して存在しています。

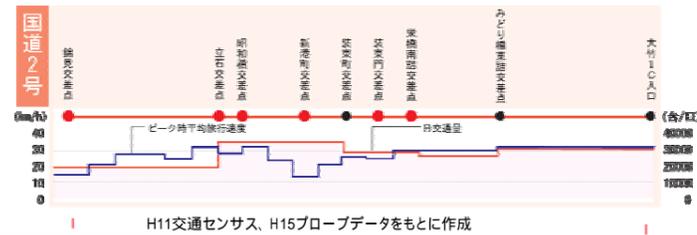
これらの渋滞を緩和するために、国道2号岩国・大竹道路や国道188号岩国南バイパス、県道岩国大竹線（関々バイパス）、県道藤生停車場錦帯橋線（平田バイパス）等の整備を進めています。

【交通量と旅行速度】

国道188号の交通量とピーク時旅行速度



国道2号の交通量とピーク時旅行速度



【主要渋滞ポイントの状況】

国道2号 岩国市新港町交差点



国道188号 尾津交差点



【代表整備箇所】

県道 岩国大竹線（関々バイパス）

県道 藤生停車場錦帯橋線（平田バイパス）

国道188号岩国南バイパス等との一体的整備により、岩国市街地の渋滞を緩和し、高速交通拠点への連絡強化を目的とした道路です。

県道岩国大竹線は昭和63年度から事業に着手し、平成17年11月18日に全線供用しました。

県道藤生停車場錦帯橋線は平成5年度から事業に着手し、平成17年8月20日に全線供用しました。



県道 岩国大竹線 (関々バイパス)



県道 藤生停車場錦帯橋線 (平田バイパス)

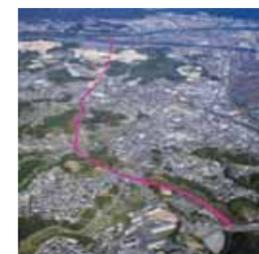
国道2号 岩国・大竹道路

平成17年度は、用地買収を促進しています。



国道188号岩国南バイパス

平成17年度は、門前川、今津川の橋梁工事を促進しています。



トピックス

『山口県の渋滞対策プログラム』

山口県では、県内の交通渋滞の緩和を図るために、渋滞対策プログラムを策定しており、第3次渋滞対策プログラムに位置づけられていた47箇所のうち、13箇所が解消されましたが、新たに13箇所の新規主要渋滞ポイントが加えられました。

このため、平成15年度からは「山口県の第4次渋滞対策プログラム」を策定し、主要渋滞ポイントの渋滞を緩和するため、バイパスの整備や現道拡幅、交差点の立体化等の道路整備を実施しています。

さらに、信号機能の向上や交通需要マネジメント（TDM）・マルチモーダル施策等により、交通の円滑化に取り組んでいます。

平成17年度は、国道191号下関バイパス、県道藤生停車場錦帯橋線（平田バイパス）、県道岩国大竹線（関々バイパス）等の供用により、10箇所の渋滞解消または緩和が見込まれます。

| 凡例 |          |
|----|----------|
| ●  | 主要渋滞ポイント |
| ○  | 事業箇所     |

【主要渋滞ポイントの定義】  
 DID（人口集中地区）内：渋滞長1km以上もしくは通過時間10分以上  
 DID（人口集中地区）外：渋滞長500m以上もしくは通過時間5分以上  
 DIDとは、市区町村の区域内で人口密度の高い（約4,000人/km<sup>2</sup>以上）調査区が隣接して、その人口が5,000人以上となる地域



出典：山口県の第4次渋滞対策プログラム

渋滞対策事業実施箇所

交通流の円滑化やTDM施策などの取り組み

| テーマ                | 取り組み                   | 内容   |
|--------------------|------------------------|--|
| 交通流の円滑化            | 交通流に応じた信号機の運用見直し       | ・信号現示の調整   |
|                    | 交通信号機の高度化              | ・路線信号機の系統制御化<br>・多現示化（時差式、矢印表示）                  |
|                    | 交通管制制御の高度化及び交通管制エリアの拡大 | ・車両感知器の整備による渋滞情報収集機能の充実<br>・都市部における信号制御機能の高度化    |
|                    | 高度道路交通システム（ITS）        | ・交通情報提供システム（AMIS）の整備拡充<br>・公共車両優先システム（PTPS）の整備拡充 |
| TDM施策<br>マルチモーダル施策 | コミュニティバス               | ・山口市コミュニティバス（山口市）                                |
|                    | 自動車利用の自粛               | ・ノーマイカーデー（山口市、岩国市、防府市）<br>・エコファーストフライデー（山陽小野田市）  |

出典：山口県の第4次渋滞対策プログラム